
第 85 期 (2007 年度) 事業報告書

技術と社会部門：部門長 大久保英敏，他 32 名，運営委員会 2 回，拡大総務委員会 5 回開催

- 1) 総務委員会の下に 7 委員会，6 技術委員会を設置し，部門運営にあたった。
- 2) 部門講演会・公開研究会を 2007 年 12 月 8 日（土）に千葉大学で開催した。
- 3) ブルネル研究会を 6 月 15 日（金）に文京シビックセンターで開催した。また，110 周年記念行事として，機械の日記念行事（No. 07-89）「自分発見！ものづくり発見！…第 1 回」ーブルネルを知ること，子供たちひとりひとりが，自分の中の「ものづくりスピリット」をパワーアップするーを，2007 年 8 月 16 日（木）～29（水）の 2 週間にわたり，国立科学博物館・地球館にて，独立行政法人国立科学博物館との共催行事として行った。
- 4) 創立 110 周年記念 2007 年度年次大会（関西大学）で，OS78 技術教育・工学教育 22 講演，OS79 機械技術史・工学史 8 講演，WS16 産業考古学シリーズ 1 講演，WS17 戦後の技術開発史を語る 1 講演，WS18 プロフェッショナルの倫理 7 講演，また，市民フォーラムで機械遺産のパネル展示を企画・実施した。
- 5) 部門賞について審議し，部門業績賞 1 件を贈賞した。
- 6) 部門ニュースレター No. 18 を 2007 年 10 月 31 日，No. 19 を 2008 年 2 月 29 日（予定）にホームページ上で発行した。
- 7) イブニングセミナーを 11 回，イブニングセミナー特別版「Science, Technology and Society」を 1 回開催した。
- 8) 学会誌 4 月号に「産業遺産」特集号を企画・刊行した。巻頭言 1 件，紹介記事 12 件を掲載した。
- 9) 日本機械学会論文集 C 編 2007 年 1 月号に「技術教育・工学教育」小特集号を企画・刊行した。巻頭言 1 件，論文 8 件を掲載した。※昨年度の報告書に記載できなかった事業。
- 10) 「機械工学年鑑 第 22 章」に関し 1 頁の追加配分を受け，執筆分担を行った。
- 11) 機械遺産委員会を設置し，活動を開始した。
- 12) 関東支部講演会に部門として参加し，例年実施している OS を実施した。
- 13) 会員支援委員会では「技術と社会部門」への登録に関する勧誘文を部門ホームページに掲載した。
- 14) 学会後援の日本産業技術教育学会主催の「第 10 回「技術教育創造の世界」事業，「エネルギー利用」技術作品コンテスト」に審査員を派遣し，「日本機械学会賞」の受賞者を選出した。2008 年 1 月 26 日（土）「エネルギー利用」技術作品コンテスト」表彰式において，日本機械学会会長より授与を行う。
- 15) 人機能支援の工学研究会を設置し，2008 年 2 月に研究会を開催する。

〔所属研究会〕

A-TS 20-12 ブルネル研究会（その人と技術史）

主査：佐藤建吉 開催：3 回

A-TS 20-14 人機能支援の工学研究会

主査：高田 一 開催：1 回